



一中だより

8月号

令和6年8月28日 発行

福生一中ホームページ <https://fussa-1j.hs.fussa.school/>

学校の日々の様子をブログにて紹介しています。



仲間と共に HOP から STEP へ

(2学期始業式の話から)

校長 金子 敏治

1学期の終業式では挑戦と継続の夏休みにしましょうという話をしましたが、充実した夏休みを送ることができましたか？今年の夏もスポーツ界では多くの話題がありました。パリオリンピックでは、日本は外国開催として最多のメダル数を獲得、メジャーリーグでは大谷選手が日本人初、史上最速の40盗塁・40本塁打の大偉業を達成しました。高校野球でも、甲子園で一球一球全力でプレーする高校球児に感動しました。

このような輝かしい成果もある一方で、惜しくも負けてしまったチームや、個人で思うような実力を発揮できず、結果を出せなかった選手もいます。ここで皆さんと考えたい2つの言葉があります。それは、「努力は必ず報われる」、「努力は必ずしも報われるとは限らない」です。皆さんはどう考えますか。正反対の言葉のように感じますが、私はどちらも正しいと思います。それぞれに言葉を補うと分かりやすいです。「努力は(いつか)必ず報われる」、「努力は必ずしも(その時に)報われるとは限らない」。努力をしてもすぐに結果が出ない場合もあります。しかし、あなたが一生懸命に努力した事実は残ります。思うように目標に達成しなかったとしても、そこに向けて取り組んだことで成長があり、できなかったことや失敗してしまったことも学びとなり、今後、生きていく上での貴重な財産になります。大谷選手が40本目のホームランを打ったのも126試合目の9回裏(最終回)です。皆さんも自分の目標に向かって、粘り強く調整を図りながら努力を続けていきましょう。

2学期は、1年間で一番長く、一番成長できる学期です。皆さんが1学期に体育祭を始めとする学校生活で見せてくれた自ら学び続ける力、他者に配慮し協力する力、そして、他の人や集団のために行動する力を、今学期、さらに高めていきましょう。合唱コンクール、修学旅行、職場体験など多くの行事があります。3年生は、自分の進路に向かって方向性を決めていく時期となります。その時に大切なのが、「仲間とともに」です。一人では行きづまったり、解決できないことも、他のだれかと一緒に行うことで、心の支えとなり、勇気が湧き、困難なことに向かっていく力を与えてくれます。福生一中の力を、今学期、一人一人が様々な場面で発揮していくことを期待しています。



東京都の事業「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を始業式後に実施しました。今年度は落語家・立川志の春さんにお越しいただき、落語会と落語体験を行いました。初めて落語を聴いた生徒も多かったようです。笑いや拍手が起こるなど楽しい時間を共有し、2学期の良いスタートになりました。